

広報たかつき

知る 広がる 好きになる

TAKATSUKI

Days

令和7年

4

No.1445

Special
issue

高槻な対談

高槻市長 濱田剛史
×
連日本将棋
盟会長 羽生善治

・関西将棋会館に行ってみた！
・勝負めしを食べに行こう！



PICK UP

- 10 令和7年度施政方針
- 16 よみがえる火見櫓
- 22 職員採用試験
説明会&座談会

高槻な対談

令和6年12月、JR高槻駅前に[関西将棋会館]が移転オープンし、ますます将棋熱が高まる高槻。開館を記念して、日本将棋連盟会長の羽生善治九段と濱田剛史高槻市長による対談が実現しました。

※この対談は令和6年12月に行われました

高槻に「関西将棋会館」ができて。

羽生会長、今日はお忙しい中お時間をいただき、ありがとうございます。

こちらこそありがとうございます。[関西将棋会館]が高槻で開館して、もう対局を結構やっていたり、JRさんが高槻駅の出入口を「将棋会館口」と名づけてくれたり、盛り上がっていますね。関東所属の棋士たちも開館を喜んでいて、どんなところなのか初めて行くのを楽しみにしています。

会長は、高槻のことは以前からご存じだったのでしょうか？

もちろん知っていました。対局やイベントで関西方面に行くと、京都から電車に乗って大阪に向かう時、次は高槻というイメージがあります。

知っていただいていて、ありがとうございます。その高槻が[関西将棋会館]の移転先候補として名乗り出たという話を聞かれた時、最初はどのようなお気持ちでしたか？

そうですね、自治体から会館を建てませんか？という提案をいただくのは、おそらく将棋界にとっても初めてのケースだと思います。基本的には新しい会館を建てる時は、日本将棋連盟で場所を探して、いろいろやり取りがあって移ってきたという歴史があるので、そういうお話をいただけたのはすごくありがたいなと思いました。

多くの将棋ファンがいることを実感。

初めてのことであれば、日本将棋連盟内での調整も難しかったのではありませんか？

いえ、非常に皆さん前向きというか、好意的な感じだったので、すごくとんとん拍子に話が進みました。過去の会館の移転の時も、みんなで盛り上げて新しい会館を建てようという気持ちが強かったという話を大先輩の方たちから聞いています。構想やプランも大事ですが、人の気持ちというか熱気、やる気がある時に、やりきらないとできないことが

あると思います。今回もお話をいただいて、それだったら当初の構想を少し変えてでも進めるのがいいのかなと。

物事には、勢いを大事にしないとタイミングを逃してしまうことも確かにあります。

あと、会館の建設に携わって気が付いたことですが、将棋界に対して、本当に一般のファンの方でのご応援しようと思ってくれている方たちがこんなに多いのかと実感をしたんですね。例えば、会館建設が予定されているとニュースが報道されるじゃないですか。そうすると、別に日本将棋連盟から頼んだわけではないんですけど(笑)、ファンの方がこれを参考にしてくださって、いろいろ分析した資料などを作ってくれて。将棋界を盛り立て、次の世代につなげていこうと思ってくれる人たちが多いことを実感した、うれしい時でもありました。

今回、将棋ファンってこんなにも多いのかと気付かされました。



日本将棋連盟会長・永世七冠

羽生 善治

昭和45年埼玉県生まれ。中学生で棋士となり、平成8年に将棋界初の全7タイトル独占を達成。平成29年に永世竜王の資格を得て初の永世七冠。平成30年に国民栄誉賞。令和5年日本将棋連盟会長に就任。



私も[関西将棋会館]に関わるようになって改めて感じるのは、こんなにも将棋ファンが多かったのだなということです。市長会などの仕事で東京に行っても、本当に多くの方から「高槻って関西将棋会館が来るんですね？すごいですね」と声をかけられたり。高槻の知名度がものすごく上がっていることを実感します。

タイトル戦に挑む時の心と体。



これは個人的にも聞いてみたかったのですが、タイトル戦に臨むときの心境はどういったものなのですか？やはり会長でも緊張されるのでしょうか？



やっぱり独特の雰囲気がありますよね。関係者の方もたくさんいらっしゃいますし、前夜祭もあって、着物を着て対局することが気持ちの面ですごく引き締まるっていうとこ

ろがあって。帯を締めて、袴をはくと、自然にそういう空気になります。



そうなんですね。全然緊張されているように見えませんが、本当にものすごいプレッシャーとか重みを背負って対局されていらっしゃるんですよね。



そうですね。考えすぎてもいけないですし、リラックスしすぎてもいけないので、ほどよい緊張感をどういうふうに保っていくのが、大きな対局の時は大事なのかなと思っています。あまり気合いが入りすぎてしまうと、ちょっと空回りしてしまうようなケースもあるので。あとタイトル戦の場合はかなり長時間行われるので、体調面で集中力や気力が維持できるかどうか。そういうことも含めて総合力が問われるところがあるのかなと思います。



心技体の充実が必要ということですね。会長の著書も何冊

NEXT PAGE

高槻に「関西将棋会館」ができて、すごいですねと言われます。



高槻市長

濱田 剛史

昭和39年大阪府生まれ。平成5年に司法試験に合格。大阪地検・東京地検などの検事を経て弁護士に。平成23年5月から現職。趣味は登山、ギター、将棋など。将棋はアマチュア初段。



か拝読しまして、書かれていることが自分の実際の仕事にも役に立つと感じています。もちろん棋士の方の頭脳とは全然違いますが、論理を積み重ねていく順序とか。例えば将棋では、一手指すと、その手を生かさないといけませんよね。そうですね。

それは現実の仕事でもあって。仕事をうまく進めるには、これまでの仕事を生かさなければなりません。これは将棋と同じだなと思うことが結構あります。それと「直感の7割が正しい」と書いていらっしゃいました。私もまずは直感を大事にするようにしています。

はい。迷った時に直感に戻るっていうことはよくあるんですね。いろいろたくさん考えてこんがらがってしまうとか、分からなくなってしまった時に、直感に戻って考える方が、いい結果になることが多いです。

あったんですけど、実際に訪れて、すごくいろいろな顔を持つ街だなという印象を受けました。例えばベッドタウンという典型的な街も結構あると思いますが、高槻はそういう感じじゃなくて、昔ながらの街並みも残ってるところもあり、新しく開発して発展してるところもあり、ちょっと離れると自然が多かったり。すごくいろんな側面を持つ街だなと思いました。

高槻の特徴を瞬間で捉えられていて、さすがです。その高槻に新しくできた[関西将棋会館]の印象はどう感じておられますか？

本当に駅からすぐ目の前に見える場所で。駅前のいい場所がこんなに広く空いてるのって滅多にないケースだと思うので、それもなかなかすごいご縁をいただいたなと感じます。

市営バス車両の滞留場だった場所を利用してよかったです。若い棋士の方に、もうだいぶ高槻に住んでいただいています。

高槻に続々と引っ越してきているようですね。これからは西の総本山ということで、棋士だけではなく将棋ファンの人にも高槻を訪れてほしいですね。聖地巡礼のように訪れたいという流れができるように、日本将棋連盟もがんばってPRしていきます。



高槻はいろいろな顔を持つ街。

会長は、令和5年に摂津峡の[山水館]で行われた王将戦で高槻に来られたと思います。高槻の街の印象はどうでしたか？

元々すごく大きい街というイメージが



街の活性化や彩りへの可能性。

ありがとうございます！会長にもぜひまたお越しいただきたいです。

はい。対局でも行くことがあると思いますし、地元の皆さんと交流する機会が多くなると思います。



それはうれしいですね。われわれ高槻市ができることがあればおっしゃってください。

将棋っていろんな意味で可能性があると思っていて、街の活性化や発展とか、彩りとか。高槻市にはそれを体現する先駆者というか、モデルになっていただけたらありがたい。小学1年生全員への将棋の駒の配布など、いろんな形で市民の方に将棋文化を広げていただいています。そういった取り組みがあることで、住む人が生活しながら何か感じてもらえるものがあって、将棋ファンの輪が広がってほしいなと思っています。

どうぞ引き続き高槻のことをよろしくお願いたします。最後に高槻市民に向けてメッセージをいただけますでしょうか。

ご縁をいただきまして、[関西将棋会館]を高槻に移転することになりました。市民の皆さんとも、これから長いお付き合いになると思います。日本将棋連盟としても、高槻市の皆さんに何らかの形で貢献できるようにがんばっていきたくと思っていますし、棋士をはじめ多くの将棋関係者も多分街中を歩いていると思うので、温かく見守っていただき、末長くお付き合いいただければと思います。

祝移転！

高槻に出来た [関西将棋会館] に行ってみた！



日本将棋連盟 専務理事 脇謙二九段

棋士が対局する部屋のほか、1階は一般の方も入館可。

JR高槻駅きた西口(将棋会館口)を出てすぐの場所に開館した[関西将棋会館]。「地上5階建てのビルで、将棋の盤をイメージした外観が目を引きます」と脇謙二専務。5階は最も格式が高い「特別対局室」が設けられ、4人の永世名人の掛軸を飾り、屋上庭園を新設するなど気品あふれる場所に。4階の「水無瀬(みなせ)」、「錦旗(きんぎ)」、「菱湖(りょうこ)」、「樺(けやき)」、「芙蓉(ふよう)」の5つの和室対局室からは、中庭「内なる庭」の緑を眺めることができ、棋士たちが静かにも熱い戦いを繰り広げます。また、「樺」という名は高槻市への移転を記念して名付けたものです。一般の方は1階にだけ入れることができ、将棋にまつわるグッズが並ぶオフィシャルショップや対局可能(登録制)な道場が。「高槻に新たに届けられた将棋文化の薫りを感じに、ぜひ一度訪れてみてください」



130席あり、広々とした道場。

自然光が入り明るい雰囲気。130席が設けられ対戦相手をマッチングしてもらえます。レディースセミナーやこどもスクールも随時開催。



棋士による指導対局も。

棋士による指導対局も道場で行われます。事前予約制で、定期券を購入すると、月2回無料で指導対局を受けられる特典も。



将棋を指しやすいうように特注した机。

道場に置かれている机は、通常の規格サイズよりも少し低めのものを特注。将棋盤を置くときちょうど良い高さになるよう配慮しました。

グッズもいろいろ！



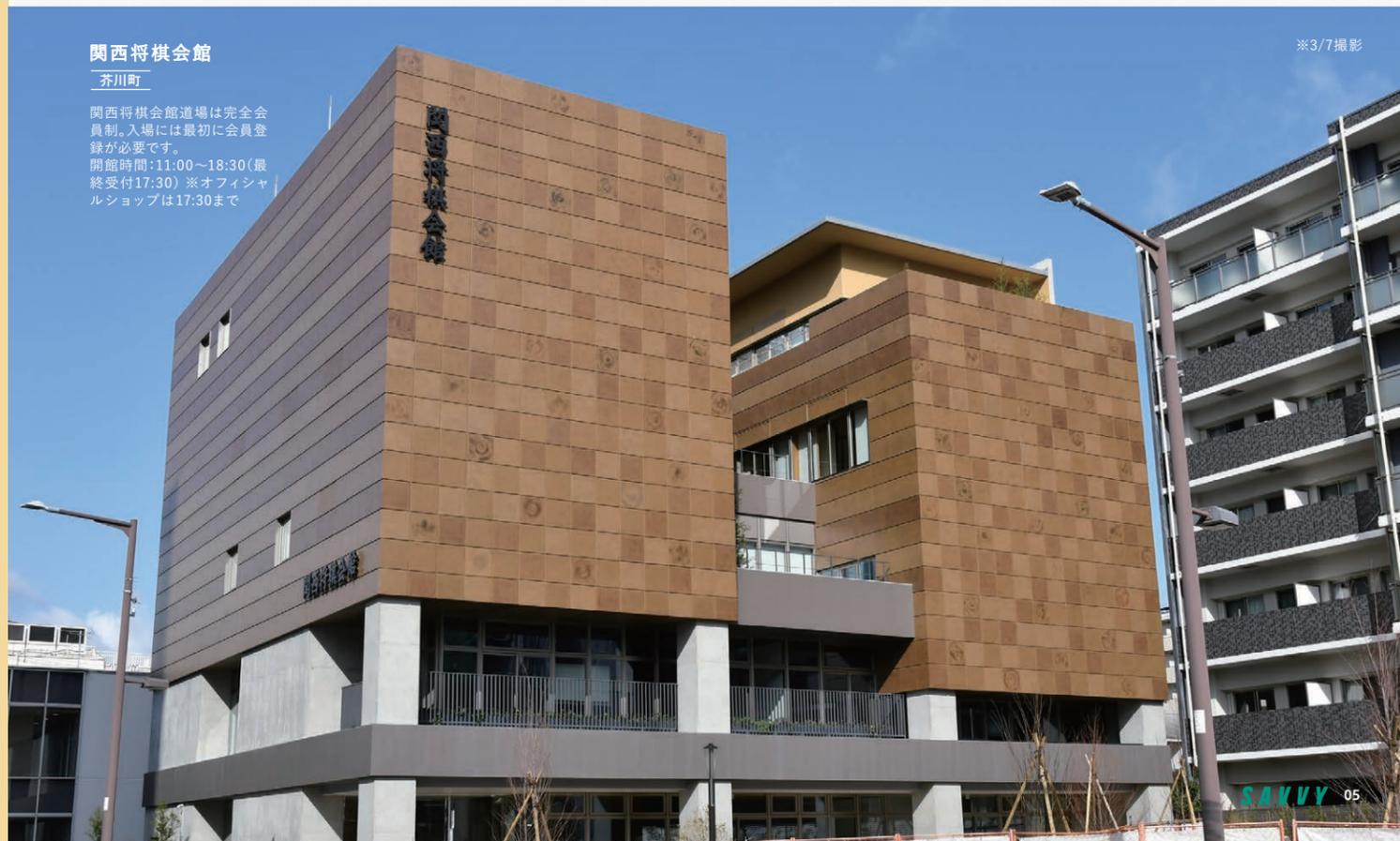
1階のオフィシャルショップでは、将棋にまつわるグッズを販売。(01)藤井聡太謝染め扇子「大志」、(02)高槻市在住の桐山清澄九段と豊島将之九段の師弟扇子「承継」、(03,04)日本将棋連盟創立100周年を記念して作られたキャラクター、将棋のコマタロウくん。コロコロ コマタロウやステッカーなどがあります。

関西将棋会館

芥川町

関西将棋会館道場は完全会員制。入場には最初に会員登録が必要です。
開館時間:11:00~18:30(最終受付17:30) ※オフィシャルショップは17:30まで

※3/7撮影



[関西将棋会館]

勝負めしを食べに行こう!



02

SHOUBU MESHI

旬菜旬魚 きくの

城北町

炭火で地焼きするウナギが絶品の店。

滋賀県のウナギの名店で働いていた菊農章央さんが、自身の店を持ちたいと選んだのが高槻の地。その時期一番脂の乗ったウナギを厳選し、滋賀県のしょうゆをブレンドした、ほんのり甘みがあるさっぱりめのタレをまわして炭火で地焼き。さすがは、土用の丑の日には多い時で600匹を焼くというほど人気の至福の味わいです。ウナギ以外にも魚を中心にした一品料理が充実していて、客席は全て個室という落ち着いた雰囲気の中、ゆっくりと食事を楽しめます。



鰻重とともに棋士たちに人気があるという、ウナギ一匹が入ったおひつまぶし桐。パリパリと焼かれた極上のウナギの地焼きを楽しんだあとは、だし汁を注いでさらなる味を楽しめます。



勝負めしとは?

[関西将棋会館]での対局時などに、棋士たちが高槻市内の飲食店に注文する勝負めし。ここで紹介している4軒以外にもさまざまなジャンルがあるので、ID142451を参照ください。

食べたらずを繰り返して勝利できる(?)ねりカツ丼(ランチのみ提供)は卵とじし、だしの味しかりの館でごはんをくるみ、ねり天を揚げたカツをオン。写真のねり天は、はに天、ニラなんこつなど。



03

SHOUBU MESHI

ねり天・旬菜和食 山城

芥川町

宮崎の地魚を使った添加物なしのねり天が美味。

飲食店で長年勤めるキャリアの中で、食育に興味を持った店主・山内健太さん。近年日本でも魚を食べなくなっている流れをなんとかしたいと、宮崎の地魚のすり身を使ったねり天メインの店を6年前にオープン。ちゃんとしたものを提供したいと添加物は一切使わず、豆乳を入れてふわっとした食感に。ボリュームもあり、魚のうまさをしっかり味わえます。令和5年の夏からは、はにたんの焼印を入れたはに天を発売し、「人気爆発です(笑)」と山内さん。

04

SHOUBU MESHI

本格熟成うどん 一期一麺

城北町

ほどよいコシの麺とだしの旨みあふれるうどん。

「うちのうどんは、ほどよいコシの麺にだしの味がのってスツと食べやすい食感です」とは、[美々卯]でも働いていた店主の林雄一さん。麺を引き立てるだしは北海道の黒口浜ととれる真昆布とメジカ、サバ、ウルメの節で取り、しっかりした風味を醸し出します。天ぷらは「素材選びはもちろん、揚げている時の音や色、箸でつかんだ時の感覚で揚げています」と林さん。熟練の感覚がなせる絶妙な揚げ加減で、脂っぽくなくサクサク食感の天ぷらに、うどんも一層おいしく。



鶏肉と舞茸の天ぷらと喉ごしするすのこ麺との相性はバツグンのとり天温玉ぶっかけ。「会館がオープンしてから、将棋ファンの方が食べに来てくれています」と林さん。

01

SHOUBU MESHI

+Home

芥川町

食べることが好きな店主が毎日手作りする家庭料理。

令和6年2月にオープン。店主・泉聖菜さんは「食べることが好き。主婦をして、料理専門学校でも学び食に関する知識が豊富になりました」と、野菜ソムリエや日本さかな検定などの資格を取得。なかなか自分で作る時間がないという人のためにと、和洋中ジャンルを問わず、毎朝手作りし、毎日食べても飽きない家庭料理を提供します。「アプリで、棋士さんたちが勝負めしに何を食べているのか分かるので、気にしています(笑)」と泉さん。

ナスの揚げ浸し、サツマイモと厚揚げのごま味噌煮などの副菜がつく自家製ハンバーグ定食。ハンバーグはスライスが利いて、ごはんが進む。



街なかには将棋モチーフがいっぱい!

[関西将棋会館]開館と合わせて、高槻の街には将棋にまつわるさまざまなものが登場! JR高槻駅周辺に多いので探してみよう!



JR高槻駅きた西口(将棋会館口)前の休憩施設。ベンチの配置が将棋の駒の形。



『将棋の渡辺くん』著者・伊奈めぐみさんが描き下ろしのマンホールは2種類あり。



JR高槻駅北側の歩道には、現在活躍中の棋士たちの凛々しい姿の横断幕がずらり。



JR高槻駅南側のポスト2つの上面には、令和5年の名局賞に選ばれた王将戦高槻対局の局面が描かれている。



JR高槻駅北側に位置するポスト2つは、形も将棋の駒仕様。